

平成30年度（産）水稲生産実施計画及び経営所得安定対策交付金等営農計画書 兼 水稲共済細目書異動申告票の記載要領

例年提出いただいています「水稲生産実施計画及び経営所得安定対策交付金等営農計画書兼水稲共済細目書異動申告票」につきまして、平成30年産水稲の作付予定を記入し、各地域の提出期限によりご提出くださいますようお願いいたします。

「平成30年度（産）水稲生産実施計画書及び経営所得安定対策交付金等営農計画書兼水稲共済細目書異動申告票」に打ち出しされている内容は、平成29年度の実績を基にしています。

A. 内容に変更がない場合

- ・押印欄（1・2・3・4枚目すべて）に印鑑を押し、1枚目の本人控えを取り外し、残りを提出してください。

B. 内容に変更がある場合

- ・内容に間違い・変更がある場合は、変更がある箇所に線を引き、その上に正しい内容を記入してください。
- ・押印欄（1・2・3・4枚目すべて）に印鑑を押し、1枚目の本人控えを取り外し、残りを提出してください。

※4枚複写になっていますので、ボールペンで強く記入してください。

※提出いただくのは、4枚複写の内、農業共済提出用と協議会提出用と生産調整方針作成者提出用の3枚です。農家控（1枚目）は本人控えになります。

■ 表示の説明

- 水田面積
畦畔ぬきの面積を㎡で表示しています。 100㎡ = 1a ≒ 1畝 10a ≒ 1反
- 水稲作付面積
昨年の水稲作付及び引受面積が㎡で表示されています。空白は転作等の場合です。
- 水稲以外の作物作付等面積
昨年の転作等の面積が㎡で表示されています。
- 作物等名又は水稲品種名
昨年の実績が表示されています。水稲作付地では水稲品種名が、転作等の耕地では「作物名・調整水田・自己保全管理など」が表示されています。
- 収量等級（地区毎に等級が設定されています。任意に変更はできません。）
それぞれの水田の10a（1反）当りの収穫量が等級で表示されています。

収量等級	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
単位収穫量(kg/10a)	570	560	550	540	530	520	510	500	490	480	470
収量等級	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
単位収穫量(kg/10a)	460	450	440	430	420	410	400	390	380	370	360
収量等級	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
単位収穫量(kg/10a)	350	340	330	320	310	300	290	280	270	260	250

水稲共済制度の注意事項

- ☆ 異動申告票の水田面積の合計が10a未満の方は、制度上水稲共済に加入できません。
- ☆ 異動申告票の水田面積の合計が10a以上で、水稲作付面積の合計が20a未満の方は、任意加入となります。加入を希望されない方は、異動申告票の備考欄または空欄に非加入の意思を記入してください。
- ☆ 異動申告票の水稲作付面積の合計が20a以上の方は、法令で加入が義務付けられています。

■ 異動申告票記入上の注意事項

耕地の貸し借りについて

同じ耕地が貸した人と借りた人の両方の異動申告票に計上されると、重複して積算されてしまいますので、重複しないように注意をお願いします。

- ◎ 耕地を貸す場合 … 貸された耕地を2本線で消し、備考欄に貸す相手の住所・氏名を記入してください。
- ◎ 耕地を借りる場合 … 異動申告票の耕地細目欄の空白欄に、借りた耕地の地名・地番・面積等を記入し、備考欄に貸主の住所・氏名を記入してください。

借りていた耕地を返却される場合について

- ◎ 耕地を返す場合 … 借りていて返すこととなった耕地を2本線で消し、備考欄にどなたに返すのか住所・氏名を記入してください。
- ◎ 耕地が戻ってくる場合 … 異動申告票の耕地細目欄の空白欄に、戻って来る耕地の地名・地番・面積等を記入し、備考欄に貸していた方の住所・氏名を記入してください。

耕地の売り買いについて

- ◎ 耕地を売り渡した場合 … 売り渡すこととなった耕地を2本線で消し、備考欄にどなたに売却したのか住所・氏名を記入してください。
- ◎ 耕地を取得された場合 … 異動申告票の耕地細目欄の空白欄に、取得された耕地の地名・地番・面積等を記入し、備考欄に前の所有者の方の住所・氏名を記入してください。

耕地の地名、地番について

耕地の地名、地番に誤りがないか確認をお願いいたします。
毎年5月に通知される「固定資産税課税明細書」で確認してください。

耕地面積について

耕地面積は実際の「固定資産税課税明細書」の記載面積とは異なり、作物の作付される面積をいいます。
耕地面積が不明な場合は、概ね「固定資産税課税明細書」の記載面積から10%程度を除いた面積が目安となります。

■ 農業共済からのお願い

- ◎ 1枚目（本人控え）裏面の水稻共済重要事項及び個人情報に関する承諾事項を必ず一読いただき、内容を確認、ご承認の上提出してください。
- ◎ 全ての耕地の貸し借りや、作付状況、作付面積などを農業共済及び行政で把握することは大変困難となっています。
農家の皆様には、水稻共済細目書異動申告票の記入については、上記の異動申告票記入上の注意事項をご確認いただき、ご記入いただきますようお願いいたします。
皆様のご協力により米の生産調整事業が円滑に運営されていきますので、大変お手数をお掛け致しますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

お問合せ先

飛騨農業共済事務組合 事業課 農産係
電話 0577-35-0310

記入例

506-0052 高山市下岡本町2115
~~共済太郎~~ 共済 **ジロウ次郎** 様

電話番号 0577-35	市町村 コード	地区 コード	集落 コード	農家 番号	農協 コード	生産調整方針 作成主体 コード	基準単収	生産数量目標等	主食用水稲 作付面積	差引面積	醸造用玄米 作付面積	種子生産圃場面積
①氏名・住所等に変更があれば訂正してください ※氏名変更の場合、漢字と読み仮名を記入してください							(農業者記入欄) 額(順位) 用米 米粉用米 1		生産数量目標等(農業者等調整後)記入欄 対象作物 生産数量目標 単収 作付面積(換算値) 設定確認欄 主食用水稲			

※ 記載されている内容等をご確認の上、1, 2, 3, 4, 枚目全てに捺印し提出してください。なお提出にあたっては、1枚目裏面の農作物共済(水稲)重要事項説明書及び個人情報の取り扱いに関する承諾事項を必ず一読いただき、内容を確認、ご承認の上提出ください。
 ※ 該当事項(太枠、網掛部分)について記入してください。また異動・変更があるときは、該当するところを二重線で消し、その上の余白に正しい文字を記入してください。

農業者記載欄													
耕地の番号	耕地番号	分筆番号	地名・地番 大字、字、集落地番	交付対象農地区分	作期	水田(水はり)面積 a	水稲作付(引受)面積 a	水稲以外の作物作付等面積 m ²	収量等級	作物等名又は水稲品種名	自家消費該当	地権者氏名	備考
1	1		カト 561-1 カカヅ 田ヨ			10 0 0	10 0 0 10 0 0		18	コシカ 大豆			
2	1		ハダ 2954-1			16 0 0	10 0 0 12 0 0		20	コシカ ヒトメシ			
2	2		ハダ 2954-1					4 0 0 6 0 0	20	その他野菜			
3	1		エト 1261-1			12 3 0	12 3 0		17	アキコメ			
4	1		カノ 2008			15 0 0	15 0 0		17	コシカ			
5	1		シミチ 153-2			7 0 0		7 0 0		自己保全管理			
			カノ 2001			8 5 0	8 5 0			タカマチ ユメアハ 飼料用米			八日町 田中五郎より借りる
			カノ 2013			15 0 0	15 0 0						岡本町 佐藤一郎より買う
合計欄		耕地筆数 6 筆				56 5 0 60 3 0	35 5 0 47 3 0	21 0 0 13 0 0					

⑧地名・地番を確認してください

③作付け内容を変更する場合

④耕地を貸す場合
江名子 高山三郎へ貸す

⑤耕地を返す(売る)場合
八日町 山田花子へ返す

⑥耕地を借りる(買う)場合
※追加で記入してください

⑦飼料用米・米粉用米の場合
※品種名を記入してください

畑作物の直接支払交付金(ゲタ)の営農継続支払に係る生産予定面積 (認定農業者、要件を満たす集落営農、認定新規就農者が対象)			
対象作物	生産予定面積	対象作物	生産予定面積
小麦		大豆	
二条大麦		そば	
六条大麦		なたね	
はだか麦			

新規需要米・加工用米・備蓄米記入欄		
区分	出荷・販売契約数量	生産予定面積
米		
醸造用玄米 (生産数量目標の枠外)		
その他		
加工用米		
備蓄米		
合計		

※ 1枚目裏面の農作物共済(水稲)重要事項及び個人情報に関する承諾事項を必ず一読いただき、内容を確認してください。

※水田、畑、二毛作の区分に限らず、作付面積の合計を記載してください。
 ※数量払いの交付対象とならない作物の面積を除外します。(種子用麦、ビール麦、種子用大豆、黒大豆、種子用そば、種子用なたね、油糧用以外のなたね)

農地の利用計画記入欄
 ※1 交付対象農地区分：米及び水田活用の直接支払交付金の交付対象水田は「1」を、交付対象外水田は「2」を、畑地は「3」と記入願います。
 ※2 作期：一つのほ場で二毛作を行う場合には、ほ場欄を二段書きすることとし、主食用水稲又は、基幹作として作付した作物は「1」、二毛作として作付けした作物は「2」と記入願います。
 ※3 作物等名又は水稲品種名：大豆、飼料作物、米粉用米、飼料用米、WCS用米、バイオ燃料用米、そ野菜、果樹等の作物名のほか、不作地がある場合は、その状態(調整水田、自己管理水田)に応じて水稲品種名も記入願います。
 ※4 地権者氏名：農地中間管理機構から農地を借り受けている場合は、その者の氏名を記入願います。また、農地中間管理機構から農地を借り受けていない場合は、所有者の氏名を記入願います。
 ※5 自家消費該当：出荷・販売を一切行っていない作物について当該欄「○」を記入願います。ただし、水稲(新規需要米、加工用米含)、地力増進作物、景観形成作物及びみつ源作物を除きます。
 ※6 再生利用交付対象年度：再生利用交付金の対象となっていたほ場には交付開始年度を記入願います。
 ※7 植栽造成年、転換畑該当年：植栽造成年、転換畑該当年はH〇〇と記入願います。
 ※8 耕畜連携助成：取組の種類(1わら利用2水田放牧3資源循環)を記入願います。
 ※9 自家消費該当：出荷・販売を一切行っていない作物について当該欄「○」を記入願います。ただし、水稲(新規需要米、加工用米含)、地力増進作物、景観形成作物及びみつ源作物を除きます。